

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	長崎県・長崎市	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	明治日本の産業革命遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>平成27年7月に世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」について、その価値や歴史上で果たした役割等をわかりやすく子供たちに理解させる資料がほとんど無いという状況である。また、世界遺産登録決定後、各構成資産を訪問する国内外の観光客は増加しているものの、構成資産の役割や価値について事前に学習できる手段があまりなく、また、地元民については周知が進んでいないという現状がある。</p> <p>そこで、明治日本の産業革命遺産について、産業遺産の歴史や果たしてきた意義を学習できる手段としてホームページや子供向け学習ブックを制作し、地元民向けの明治日本の産業革命遺産に関する展示事業を行うことで、近代化遺産を活用した地域振興を図るため、以下の事業を実施する。また、計画期間中、以下の取組を通じて、行政と民間団体等による連携・協力体制の確立を目指す。</p> <p>1. 明治日本の産業革命遺産 紹介・学習用ホームページ及び子供向け学習ブックの制作、展示事業</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、長崎市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>主な担当課、役割 観光政策課：観光業務に関する連携</p> <p>また、事業の実施については、次の団体が実施</p> <p>1. 明治日本の産業革命遺産活用事業実行委員会 (構成団体) 長崎近代化遺産研究会理事、三菱重工業(株)長崎研究所等</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 17,118 千円	平成29年度申請額： 5,950 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>対象遺産である「明治日本の産業革命遺産」については、世界文化遺産に登録されたが、県内の子どもや一般観光客等の遺産に対する認知度や理解度は依然として低い状況である。また、産業遺産自体、一般的にはあまり馴染みが無いテーマであるため、現状では子どもおよび一般観光客等に遺産の概要や果たしてきた役割等を分かりやすく伝えるのが難しく、また学習できるツールがほとんど無いのが現状である。</p> <p>そこで、産業遺産の映像・写真資料・遺産の説明等を内容としたホームページを制作し情報を発信することで、写真・映像・資料の集約および一般観光客等への見える化を図ることができ、産業遺産の価値や役割の普及に繋げることができる。また、マンガやイラストを多用した学習ブックを作成し、県内の子どもたちの目に触れる機会を創出することにより、子どもたちの遺産の理解や継承の意識啓発を図ることが可能である。</p> <p>さらに、展示会を開催することにより、遺産が持つ価値や果たしてきた役割等のさらなる理解を促進することができ、制作した展示物についても、今後県内学校やイベント等でレクチャーする機会を創出することで、遺産対象エリア全域への今後の啓発活動が行える効果が考えられる。その他、観光面に関しても、個人客・団体客（修学旅行含む）に対し、教育や旅行に近代化遺産を取り込むためのツールとして活用することにより、構成資産対象エリアの観光振興および地域活性化の効果もあると考える。</p>			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：

事業概要：

事業概要：

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

「歴史文化基本構想」については策定済み。
「歴史的風致維持向上計画」については、現在作成中であり、平成29年度の認定を目指している。

12 担当部局

地方公共団体
担当部局課

長崎市文化観光部観光政策課（施設活用係）

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	その他					
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	地域の文化遺産及び関係史料館への来場者 (来館者) 数			関連事業:	①	
目標値 1 :	平成 28 年度 308,952 人 ⇒ 平成 29 年度 314,019 人					
設定根拠 1 :	ホームページ公開予定を平成30年1月から予定していることから、前年度の1月～3月の地域の文化遺産及び関係資料館等への来場者 (来館者) 数との比較を行う。 毎月のホームページ閲覧数目標を3,379PVと定めているため、その5割の数である1,689人の増を目標とした。 以上のことから、1,689人の3か月分の人数である5,067人増を目標とした。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	その他					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	アンケート調査における、長崎の近代化遺産に関する理解度の変化			関連事業:	②	
目標値 2 :	平成 28 年度 0 % ⇒ 平成 29 年度 50 %					
設定根拠 2 :	事業予算内で制作する学習ブックは長崎市内小学校、図書館等に配布。その後、配布成果として学生等、学習ブック被配布者を対象としたアンケート調査における、長崎の近代化遺産に関する理解度の変化を計り、半数程度の理解度が深まるよう目標とする。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 3 :	その他					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	アンケート調査による、展示会観覧後の遺産への関心度の割合			関連事業:	③	
目標値 3 :	平成 28 年度 32 % ⇒ 平成 29 年度 70 %					
設定根拠 3 :	「長崎市の世界遺産実現による経済効果推計業務調査報告書 (長崎市 平成25年3月)」の中の「産業革命遺産に興味があるか」という設問で「非常に興味がある」「比較的興味がある」と回答した32.1%を基点とし、それから70%まで関心度を引き上げる設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
%	%	%	%	%	%	

